

2022 J3 順位表 第29節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

注: *印は消化試合が数字分少ない

1	いわき	66p	+45	64	19	H●	A●
2	藤枝	61p	+28	53	25	A●	H●
3	鹿児島	59p	+17	49	32	HO	
4	松本	57p	+14	37	23	H●	A●
5	富山	54p	+9	44	35	A○	H●
6	今治	53p	+15	46	31	H●	A●
7	長野	47p	+2	35	33	A△	H△
1*8	愛媛	43p	+7	41	34	HO	A△
9	福島	38p	-3	33	36	A○	H△
10	北九州	33p	-5	31	36	A●	
11	岐阜	33p	-8	39	47	---	---
1*12	宮崎	32p	-8	32	40	A○	
13	八戸	31p	-17	25	42	H△	A●
14	沼津	30p	-14	23	37	A●	
15	鳥取	28p	-10	42	52	HO	A●
16	讃岐	24p	-18	22	40	A●	HO
17	相模原	23p	-15	27	42	HO	
18	YS横浜	21p	-39	20	59	A△	HO

次回HomeGame

第32節 vs. テゲバジャーロ宮崎

11/6 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつ一杯

煮込み **珍道中** 串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10分

★
アマカ

ドミ
ン

JR
岐阜駅

today's guest : **アスルクラロ沼津**

2021 J3 7勝6分15敗 勝ち点27:14位

直近の対決と結果

2022/03/27
J3 - 3節@愛鷹

沼津 2-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	アスルクラロ沼津
2022/10/15 J3 - 29節@サンアル 松本 2-1 岐阜	2022/10/16 J3 - 29節@愛鷹 沼津 0-4 いわき
2022/10/09 J3 - 28節@長良川 岐阜 1-3 富山	2022/10/09 J3 - 28節@ピカスタ 讃岐 0-0 沼津
2022/10/02 J3 - 27節@長良川 岐阜 1-1 福島	2022/10/02 J3 - 27節@愛鷹 沼津 0-0 松本

●10/2 (日) 第27節のホーム福島戦で引き分け、なんとか3連敗で食い止めたFC岐阜。ホーム連戦となった10/9 (日) 第28節・富山戦は、PKで先制するも追いつかれて前半を折り返す。そして後半にPKで逆転され、追加点も奪われて1-3で敗戦。続く10/15 (土) 第29節・アウェイ松本戦も、前半にCKで先制点を奪うものの、後半に2点を奪われて1-2で逆転負けし、再び連敗を喫してしまった。

この2試合を終えて、FC岐阜は順位を更にひとつ下げて11位に。リーグ後半戦12試合での戦績を見ると、2勝3分7敗・12得点22失点。非常に不本意ながら、明らかに“弱い”チームの戦績だ。ここ7試合でも2分5敗の未勝利と、出口の見えないトンネルが続く。得点はそこそこ獲れているが、失点が多すぎるから勝てない試合が多い。シーズンを通して見ても、現時点で得失点差がマイナスになっており、守備面が改善されずにいることが大きな問題と言えるだろう。そして、今シーズンは残り5試合のため、今季のFC岐阜は“勝ち越し”すらも達成できないことが確定してしまった。現在のJ3には降格制度がないので未知数な要素も多いが、29試合で勝点33という状況は、J1やJ2ならば“残留争い”をしているチームの少し上の順位”だということも、非常に不本意ながら、指摘しておく必要があるだろう。強い危機意識をもって、クラブ全体で今季の反省と総括を行い、来季こそは上位の成績で終わるように、J3で勝ち抜くための戦術やチーム編成に早急に着手しなくてはならない。一方でチームは残り5試合、少なくともホーム戦では、勝利のため全てを出し尽くして戦って欲しい。

さて、今節の対戦相手は、アスルクラロ沼津だ。昨季は14位。今井雅隆監督3年目体制の今季、序盤は10位前後を推移していたが、昨季チーム得点王でエースの渡邊りょう (現:藤枝) が移籍した影響が出たのか、移籍直後に4連敗。8/22 (月) 付けで今井監督は解任され、後任には強化部長だった望月一仁氏が就任 (当時は暫定、9/17 (土) に正式に就任)。その後も9試合で1勝4分4敗・3得点11失点という戦績で、現在は14位。岐阜と同様、なかなか調子が上がらずに苦しんでいるが、岐阜との勝点差は3。つまり、今日の結果次第では、得失点差で両者の順位が入れ替わってしまう可能性もあり得る。沼津も強い気持ちで長良川に乗り込んでくるだろうが、それに負けること無く、岐阜の選手たちも1か月半ぶりとなる勝利を掴み取る姿を見せて欲しい。

沼津との通算対戦成績は岐阜の2勝2分1敗・8得点6失点。昨季のホーム戦・5/5 (祝) 第5節は、大雨でボールが止まるピッチ状況の中、セットプレーやヘディングでのゴール対決を制した岐阜が、3-1で勝利。今季前半戦の対戦だった3/27 (日) 第3節は、#11 染矢一樹のFKで先制され、追いつくべく攻勢を強めたところで最後列の連係ミスで追加点を献上。その後はボールを支配しながらも得点の切っ掛けを掴むことができず、0-2で今季初黒星を喫した試合だった。今節こそは、しっかりとゴールを守って勝ちきる試合を、このホーム長良川で、僕ら岐阜サポーターに見せて欲しい。

先述したように、望月監督が指揮する沼津は深刻な得点力不足で、直近の9試合3得点。一方でGK #45 武者大夢がゴールを守る直近6試合では、(いわき戦の4失点を除けば) 5試合2失点と堅い守備を誇る。そして#45武者が好セーブを連発してチームを救っている。したがって最も警戒すべき選手には、先述の3/27 (日) 岐阜戦でJデビューを果たした、この沼津の若き守護神を挙げる。また、多くの岐阜サポーターが注目しているであろう#11 染矢一樹 (09年に岐阜に入団し13年までに通算165試合出場・18得点) は、今季の出場は7試合、先述の岐阜戦での1得点に留まっている。J通算330試合出場を達成し、すっかりベテランとなった“ソメ”が、再び長良川のピッチに還ってくるかは不確定だ。だが、それ以上に、現在の岐阜の選手たちが、この長良川のピッチで躍動する姿を見せてもらいたい。

今節もコロナ感染対策を採った上での“声出し応援適用試合”となる。僕ら岐阜サポーターは、ガイドラインを忠実に守りつつ、拍手やタオマフを回して最後まで選手たちの背中を押し続け、このホームスタジアム・長良川を盛り上げよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第28節】岐阜 1-3 富山

●まだ暑い……と思ったら急に寒くなり、秋を飛ばして冬に入ったかのような、しかも小雨の降る試合。選手たちも体調管理が大変ですね……。

さて、福島戦でアキレス腱断裂という大怪我を負ってしまった#42 柏木陽介を欠く岐阜。どちらかと言うと悪い意味で、#42 柏木の存在感が目立つ今季のチーム、やはり序盤から富山が優勢に立ち、決定機とまでは至らないが、攻められてシュートも撃たれる。なかなか打開策が……と思っていたんだけど、PA内でのボール交換で、抜け出しかけた#25 生地慶充の足が引っかかり、ちょっとラッキーな感じでPK獲得(苦笑)。これを#38 藤岡浩介がきっちり決めて先制点。よし、この先制点を大事に前半を無失点で……終われませんでしたね(溜息)。左サイドを簡単に突破されて中央にボールを通され、ダイレクトに当てたシュートで敵ながらゴラッソな同点弾……。左サイドの1vs1で完全にブチ抜かれたのも、フォローがなかったのも、ゴール前中央に人数がいたのに誰も対応できていないのも、ホント駄目。前半終了間際に足が止まっていたのも、ボールへの反応が悪すぎるのも、ホントどうにかして欲しいです……(溜息)。

んで、機能していなかった左サイドを2枚替えて後半開始。だけどやっぱり富山の方が攻勢で。わずかにJ2昇格に望みを繋いでいるチームとの差と言うべきなのか、逆に、チームに差があるから順位に違いが出ていると言うべきなのか。んで、前半に岐阜が貰ったのと同様に、PA内で足を引っ掛けちゃってPK献上、そして逆転。後半終了間際にも、足が止まってきた岐阜の隙を突かれて3失点目、そして試合終了。終わってみれば、シュート数も倍近く撃たれての完敗。非常に残念なことなのですが、腹は立つけれども順当負け。もう、走れないベテランを起用し続けるよりは、少しぐらい下手でも必死に走り回る若手選手たちの姿を応援している方が、僕は精神的に健やかな気がする(苦笑)んですが、若手も走れなくなってるんでしょうか……。(ささたく)

●福島戦後にリリースされた驚愕の情報。アキレス腱……。それも、完全断裂……とか。なんで……?流れの中とかではなく、CKに備えて歩いてただけだったはず。心痛察して余りあるが。幸い、手術は無事終了した由。『全治6か月』であれば、再びピッチに戻れるのは早くて来季終盤ぐらいか?とにかく、ただ、ただ、完治するよう祈るばかり。焦らないでしっかり治してほしい。ガンバレ!陽介。

そんな状況で迎えた富山戦。先制のPKを決めたプリンスが『42』と示したように、「なんとか勝利を届けたい。」そんな思いを胸に試合に臨んでいたとは思うのだが……。押され気味の前半に、ある意味「ラッキー」な先制をすることができたんで、そのままハーフタイムを迎えられるとよかったんだけどね。序盤から再三脅かされていた左サイドの裏を取られての同点弾。これが痛かった。それでもね、前半に露呈した穴をハーフタイムに修正したことで、60分までは劣勢ながらも「もしかしたら、ワンチャン?」という流れ。それを断ち切ったのが、また、つまらないファウルからのPKだったのがものすごく辛い。残念としか言いようがない。前半の富山のソレが、どちらとも取れるようなプレーだったのに対し、ウチのソレは、もう、あからさまなファウル。2試合続けてそんなプレーを、それもホームで見せられるのは何とも……。で、そこから先は目標のあるチームと何にもない……。あ、あったか。「42番のために。」とか「応援してくれる人のために。」とか。うん、たしかに頑張ってくれてたよね。それはわかった。だからね、余計にね。それでも、まだまだ、試合は続く。長良川ではあと3試合。頑張り方を結果に繋げてほしい。

しかし、先制して前半終了間際に追いつかれて、後半2点取られるとか、そこまできっちり、4月のアウェイ富山戦をトレーサせんでもよかろうに。律儀か。(ぐん)

●ケガによる長期離脱について柏木が「岐阜に来て、何を残せたのか。正直なんもできてない」と話した……と読んだ。彼が岐阜に来てピッチの内外でいろいろやってくれているのは知ってるけど、結果として残せていないのだから、「サッカー選手として」こういうコメントになるのは理解出来る。ぼくはこの富山戦については、試合前から「柏木が不在では出来るのが限られるだろう」と思っていたので、『悔しさ』よりも『見立てが正しかったことの嬉しさ』の方が優勢だった。「このチームは、ピッチに柏木がいなければ、ここまでだ」という。(吉田铸造)

【第29節】松本 2-1 岐阜

●試合の数日前に、選手8名のコロナ陽性判定が明らかになった岐阜。そして当日のベンチにGK2名体制制ということは、つまり『そーゆーこと』ですよ……。

だけど、もちろん対戦相手との相性もあるから一概には言えないけれど、後列でボールをこねくり回すよりも、割り切ったシンプルに縦に出す戦術の方が、やっぱりJ3だと有効に思えるのは僕の気のせいかしら?(苦笑)んで、CKのボールをPA内で#17 藤谷匠が潰れ、ボールがこぼれた隙を、#39 畑潤基が左足を振り抜いて先制点!その後も、相手にボールを持たれてはいるものの、それほど決定的な場面は作らせずに、前半終了。

後半開始から松本は2枚替え、しかも、かつて岐阜に在籍していた#7 田中パウロ淳一を投入。すると、#7パウロの2ゴールで松本が同点、そして逆転。ウチの先制点もそうだったけれど、思い切りよく足を振るのが大事だと改めて思われるゴールでした。だけど、よりもよって、こんな試合で2発も「恩返し弾」を決められるとは。#7パウロも今季は出場機会を減らしてて、心に期するものがあつたとは思うけど、それにしても……(溜息)。そして、岐阜の決定機は、これまで岐阜に在籍していたGK#21 ビクトルに防がれる。彼が岐阜に居た時に痛感したけれど、決定機を止めるGKってのは、ストライカー以上に貴重で重要ですよ……(溜息)。

これで7試合未勝利。勝つための道筋が全く見えなくなってしまった長いトンネル。こうなったら、思い切った選手の入替えなど、もがいて足掻いて必死に脱出するしかない、僕は思う。(ささたく)

●お昼ご飯を食べに行った、熱烈サポのラーメン屋店主さんが開口一番、「試合になるのかな?」と。そこで初めて、チームの状況を知るヌルく、ハンパな自称サポーターがボクでした。選手が8人……。で、登録メンバー見たらサブにGK2人。それでも、ベンチ入りメンバーをフルに揃えられたのはよかった。そのサブメンも含めて、良くも悪くも、今季のウチの肝だった『中盤トリオ』が一人もいない。そんな中では、出来る限りのコトはやってたな、と。

まあ、タメも、大きな展開もできないのはしかたない。ほぼ、『戦術クボタン』。彼がボールを持った時にはワクワクしたね。逆に、プリンスは鬱憤が溜まるだけの試合だったかな?ただ、後半のチャンス。アレはシュートまで持ってって欲しかったな。

前半をリードで折り返したんで、もう少し粘れるとよかったんだが、如何せん、追いつかれたのが早過ぎた。ま、時間の問題、だったと思わないでもないけど(苦笑)。ただ、ね。決勝点。クリア出来なかったかなあ?あれ。ギリギリだったかな?マツタクも岡村も。

試合を通して、さほど、脅威に感じなかった、最近の成績の理由がわかるような、この松本相手なら……。いや、それはゼイタク過ぎる望みかな。そういう意味では、2点ともパウロでよかったよ、と自分的に思っておきます。

しかし、パウロさんよ。今季初得点だあ?何やってんだよ!と思いつつ、巡り合わせというか、ウチなら、ウチからしか……とか(大苦笑)。(ぐん)